

2009 年度活断層学会学会賞

授賞者： 杉村 新

授賞理由：

杉村新会員は、弧状列島の基本的性状の解明に関わる多くの先駆的な研究、特に火山フロントの発見と提唱など、今日の日本列島の地殻変動に関する研究の礎となる概念を確立し、多くの解説書によってその普及に努めた。また、房総半島の完新世段丘の地震性隆起量と海面変化量の分離、小国川の河岸段丘の活褶曲運動変形、木曾川河岸段丘の累積的変位から断層変位ベクトルの復元、中部地域の共役横ずれ活断層系などの提唱など、画期的かつ示唆に富む数多くの研究は、日本の変動地形学研究に大きな刺激を与え、その後の活断層研究の発展の足掛かりを与えた。さらに、第四紀地殻変動の特徴について基本的な概念を提示し、その意義付けを行うとともに研究の方向性を示し、活断層研究の発展に多大な貢献をし、現在の活断層研究隆盛の基礎を築いた。